

1 横浜市の計画と「横浜市立図書館の目標一覧」

(1) 第5期横浜市教育振興基本計画（令和8（2026）年策定）（令和8年度から令和11年度）

2030年頃の社会を見据えて、横浜の教育が目指すべき姿を描いた「横浜教育ビジョン2030」（2018（平成30）年策定）のアクションプランです。また、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。



(2) 第三次横浜市民読書活動推進計画（令和7（2025）年3月策定）（令和6年度から令和10年度）

「第二次横浜市民読書活動推進計画」（令和元（2019）年策定）期間中のおおむね5年間では、区役所・図書館・学校は、地域性に応じた読書活動推進目標を更新、教育委員会は、他機関、民間事業者と連携し、全市的な読書イベントや広報活動を実施してきました。「第三次横浜市民読書活動推進計画」はこれまでの取組を継続しつつ、成果や課題等を踏まえ、社会情勢の変化に対応するかたちで策定されました。



(3) 横浜市図書館ビジョン（令和6（2024）年策定）

10～20年後を見据え、中長期的な社会の変化を展望し、これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示すものとして策定しました。新たな図書館像を示し、これからの図書館のあり方について5つの基本方針を定めました。

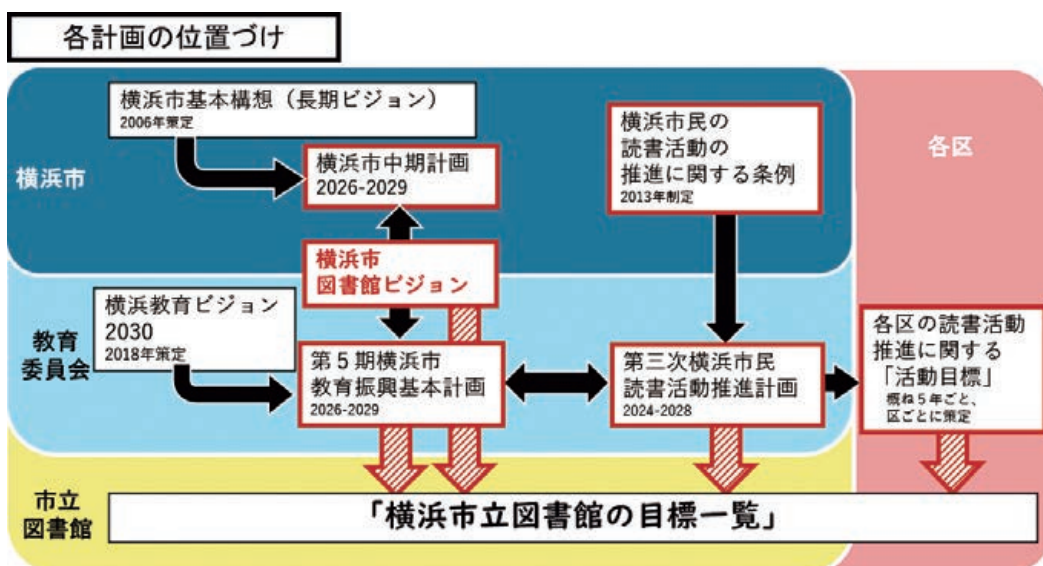


- | |
|---|
| <p>基本方針 1 未来を担う子どもたちのための図書館</p> <p>2 あらゆる市民のための図書館</p> <p>3 まちとコミュニティのための図書館</p> <p>4 利用しやすい図書館サービス</p> <p>5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館</p> |
|---|

図書館に関する個別の行政方針と位置づけ、市の中期計画、財政ビジョン、教育ビジョン、教育振興基本計画、横浜市民読書活動推進計画等と関連する部分について整合性を図りながら一体的に推進していきます。

(4) 横浜市立図書館の目標一覧

上記(1)～(3)のほか、各種関連計画等と連動し、図書館施策を着実に推進していくため、「横浜市立図書館の目標一覧」を年度ごとに各図書館において策定しています。



上記各種計画のほか、「図書館法」「バリアフリー法」等各種法令も関連します。